

かせ・そら・た・いようぐみだより

2020.9.30 円町まふね障保園

朝夕、少し涼しくなってきましたが、日中はまだ暑い日が多い続いています。夏のあせびを思いう存分楽しんだ子どもたちも、今月は、盆ポツクリ、三角馬、竹馬など、身体を動かして遊ぶことや、秋の爽やかさを少し感じてこの散歩を楽しんでいます。こまめな水分補給と、休息をとり、身体を動かすことを楽しんでいい季節だと思います。

たいようぐせ ☺ No! ♪ことをしているよ!! ..°

新編重刊本の「文庫版」は、昭和20年（1945）に刊行された。

「竹馬」・「走り縄跳び」・「竹登り」を中心には、コロナの自粛明けから親しんできました。せひめは「よのよの」上手く出来事にいた子供たち万も、日々、向き合っている中で、コツをつづけ、また、保護者や仲間との所がままで、「竹馬」で歩けるようになつたり、「縄跳び」で跳べるようになつてきました。反対に同工で「〇〇くんがでいい」「二かどる」と目標を持ち、アドバイスし合う姿は、丁度の年長組で「よし」と思います。憧れを持つことと「ぐう」と気持ちは入り、「二かどり」で「といふ」という思ひの原動力になりました。子どもたちを前へ動かさします。

ある時、竹馬に乗ることが難しくて、可もなく不可と泣きながら泣いていた時に、お友だちに仲間の子が「こうやつ、こうやつは泣かせで、大丈夫!」と語り掛けたのです。

しげらくに腰を下すといふことをして、あそびを終りていります。“ほくも、た
けるいせう”とそばで言ひます。それからも“いつしんじは、おしえにげる”
と何度か話をし、少し時計は掛かりましたが、そのお反てごとに馬に乗ることを止めました。保育園以上に仲間の存在の大さを感じてこ
場面があり、相手のことを考えられている感じあります。

「行事に向けて、どうしても成果ばかりに気が向かちますが、子どもたる一人ひとりのドラマがあり、尊いもので。運動大会ジニまで、あと少しとまりました。「パセリひとつね! せんぱいでこのレモン」と手掲げ、それが思ひがゆ々くりとまとまり半分めようとしている所。当日は、子どもたちが今ある力を精一杯見守していくと共に、決してこの日がゴールでなく、通過点として見て頂ければ良い」と思ふ所。

お泊まり保育の話をしたよ~♪ お泊まり保育でどんなことをするかと目を光るかせながら、話を聞いています。予定を伝えないと、花菖蒲山谷はまだ交渉の森での川遊びは出来ない、跳ね床があるが喜が窄があります。川遊びがどうなじむかということもラフジャケットを着てみると泳ぐ真似をしてみる魚釣りの格好をしてみると、気分も盛りあがります。また夕食の事を聞くと、「え? おくじょうごにべるん! ?」「まっくわせん! でもおもしろそうせん」とドキドキワクワクが止まりません。次日、自分のことは自分でしよう! ということで手持ち物表をみんな作りました。①は三亚マーのときせしタリいいろねえ②はパラジマーもしかして三らぶいかもしけへんづみ、ながれぞがれかなー「などと、必要な物を、場面に合わせて考えていくます。イメージしているものを絆気にして、そのものを大切に見ると、という事に苦手意識を持った子どももいましたが、その時は保育者が手伝い、長い時間かけて、上上げました。これから準備していく中で、得意、不得意といふのは

そらぐみ

◎ たのしいおさんぽ

暑さも少しずつ和らぎ、戸外で遊ぶのがとても気持ちの良い季節になってきました。クラスでも散歩に出かけたり、たいよう組とも一緒に園外へ出て、遊びことを楽しんでいます。

御旅所では虫や木の実を見つけて、石段からジャンプしたり、木のぼりをしたりと好きはあをびを見つけて遊びます。石段からのジャンプは最初、「わくわく勇気が出す」「怖い気持ちが強い子どももいます。勇気を出してジャンプできたら何はとも嬉しそうな表情で「できた!できた!」と達成感に満ち溢れています。木のぼりでは見上げるほど高い木に友だちがのぼる姿を見て「ばくもやってみたい!」と列に並びます。「めちゃにかしいなあ……」「こわくてよきに」と川原童が近づくにつれて表情が曇ります。それでも友だちから刺激を受けて友だちがいるからこそやったみたいという意欲的に上がった気持ちがとても素敵でした。そしてのぼれたことに達成感を感じています。子どもたちの瞳がキラキラ輝く経験を沢山できるよう保育していく

① クラスTシャツ作り

クラスのTシャツ作りをとても樂しみにしていた子どもたちです。自分の好きなところを自分で絞り、「今日いろつけろ?」「はやくちおにしょ!」と青色に塗めるのを心待ちにしている等がありまし^た。塗める日に朝伝えると大喜びの子どもたちです。お湯に染め粉を入れ、色が変わると「わあ! あわにはい!」「すごい」と嬉しそうです。自分のTシャツを入れてまんべんよく塗まるよう、棒でかき混ぜます。きれいに塗ま^たにTシャツに先日スタンプをしました。大胆に押すことを楽しんでいる子どももいれば、きれいに押していいとゆっくり丁寧に押す子どももいます。それをどの思いが込もったか敵はクラスTシャツになりました。運動の会でここではTシャツを着てから朝バワ余間で頑張りたいと思^ふす。

⑥ こうありたい自分
「やりたいけどできない、でもやりたい」というだけではなく、「友だちから認められたい」「みんなといっしょにがんばりたい」と集団内で「こうありたい自分」ができるまで、そのねがいの葛藤にはなることも多くなってきます。こうしたハジの動きに優しい眼差しを向け、「がまんはさせない」と直接的に大人が子どもの気持ちにせまるだけではなく、自分をコントロールできる力をつけて貯めておくことが必要です。そのためには自分や身体の調整力が身に付いてくることも大切です。また、友だちの思いに気づいたり、友だちに自分の思いが伝わったたりする喜びを積み重ねることも、自己コントロールの大半は土台になります。日々娘から子どもの姿を多面的・総合的に見て、みんな思いに気付き、子どもたちの自信につなげられるようにしていきたいと思います。

かぜぐみ

「ミセツイ作り」

丁寧な所には、ゴムでくくって継ります。人でくくるのは非常に、保育者と一緒にします。**(保)**「どこにする?」**(3)**「ここ!」自分で決めた場所をつかみ、くくる長さも決めます。最初の2~3回は、保育者に、くくってもらうと、今度は、子どもたちの番です。ゴムを「くくって!」「くくる!」(ねじて)「つまんでどこにくくる!」とあざむかひのようにな、何度も言って継ぎます。

「Tシャツ染めます」と声をかけようと「うわーー、運動会Tシャツや」とうれしそうな子どもたちです。お湯の中には染料を入れて染めると、「かせぐみの緑色や!」と言っています。「順にTシャツを液の中に染めると白いTシャツがみんなうらやましい緑色になります。おやつい食事と頂まで液につけておくのです。運動会Tシャツでまたばかり?」「まだ?」と何度も聞きに来ます。でき立ったTシャツのゴムをはずす時は「でききないよー手伝えー」と言っていましたが、引っぱる(?)時に、玲玲たつて何とか自分ではずします。でき立Tシャツがうれしくて、よくみんなで着て、他クラスへ見せに行きます。仕上げは、葉っぱの形の消しゴムスタンプ。4色の中から好きな色や形で選んで押します。そーっと押す子ども、ギュッと押す子ども、ホニホニと次々に押す子どもがいました。そのTシャツを運動会ごっこ時に着て楽しむのです。

祖父母への手紙

「いつも あせんでくれるで」「おもちゃ買ってくれるで」とおじいちゃんが
あちゃんを思って絵を描きました。いつもアリガ「どうのメッセージー」と
共に、でき工房手紙を見て、みんなで「ホースト」に入門に行きます。
自分で投票することか」と、もうれしくて、少しせせ歩きで、園に
帰ってくると、「お手紙いつにかね?」「いつも つくね?」と届く
日を樂しみで、工房。



卷之六

そら、たいよう組の友だちが、給食前後の配膳と片づけにしているのを見て、自分もやってみたいたいと憧れていた子どもたちです。今までには、保育園で給食を運んでもらっていましたが、今は、自分で「かず」と「こ」は人を自分の席まで持ってきて行きます。中味がこぼれやすいように、両手で、お皿やお茶碗をしっかりと持ち、箸をつけて運び、食べ終ったあととも片づけます。大型の食器から、皿は重くて、食器が不安定になると、手を広げて押さえ、かごの所まで持ってきて行くと、今頃は入っています。給食の時間は、友だちとおしゃべりに食べる樂しいひと時です。それと同時に、お茶碗を持つ、お皿に手を添える、前を向いて食べる、ごはん粒を最後までさえるなど、食事のスナモ身につけていきましたといふ思ひます。

一日の生活や活動の中で、子どもたちが自分ですることが増えました。今まで、彼らたる彼らの友だちのすることは、憧れを持っていましたが、今では、それを叶えず、自分ですることはなってきています。お兄さん、お姉さんと同じことができたり書けが、自信に繋がると、次にやってみたいこともどんどん増えています。子どもたちのやりたい気持ちに寄り添い、無理のない方に変えていくといふ思います。



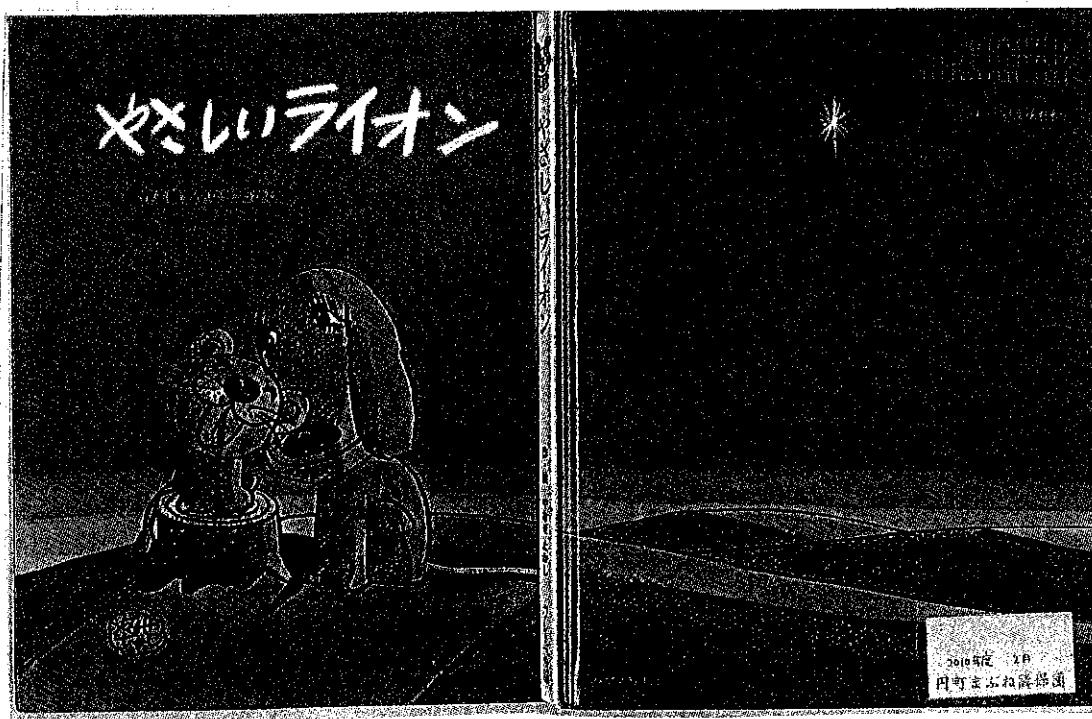
たいとうどみ NO.2 ~

絵本“やさしいライオン”を聴いて…

毎日、午睡前にお当番の子どもに読み聞かせたい本を選んでもらっています。
その中で“やさしいライオン”という絵本に出会いました。
あらすじとしては、叶はしぐのライオン、ブレブルに大きなくびきが本当の母親のようにな
育てます。ブレブルはお派手なライオンにはなり、サーカスで活躍します。しかし、母親に会
いたくなり、オリから逃げ出します。母親に会えましたが、逃げ出したら危険なライ
オンとして、ブレブルは銃で撃ち殺されてしましました。何もしない優しい
ライオンで、ついで母親に会ってから逃げたのに…最後には母親を背中に乗せて
いるシーンが終わります。恐らく母親も死んでしまって、天国と一緒に暮らせている
というラストがのがと思ひます。

最後まで物語に入り込んでいて子どもたちに“え、なぜ？”“ブレブルうでれるの？”
“ばんにもわるいことしてないせん”“わるいってか、こにまめつけたらあかん”“ブレブル
かわいそう”“くびきのこじていいませんせん”など、真直ぐな思いを口に出す言
葉。絵本を通しての感じが大人それぞれ違う。そこには正解というものはない
ですが、親子の愛情、人間の尊厳など、本当の優しさとはどういうことか？などが色々と
考えさせられる作品です。

これからもたくさん絵本に出会い、その中の世界観に浸り、楽しく、子どもたちの
心の感動力を味わっていこうと思います。



○○ おねがい ○○

- ★ 朝晩は気温に冷え込み、体調を崩しやすい時期です。早寝早起きの規則正しい生活に、十分な休息を取り、ください。
- ★ 11月より、午睡できる日を減らしていくことを心がけ、子どもたちの体調や様子を見ながら、無理なく進めていくことを心がけ、詳しくは「後日お知らせ致します」。